

## 運動会の歌

地域の皆様とお話をしていると、昔の学校の話がたくさん聞けて本当に楽しいです。先月の敬老会の折には、昔は「運動会の歌」というのがあったというお話をお伺いしました。子どもの時に歌った歌というのは、ふとした時に耳にすると本当に懐かしく、その当時の空気やにおいまで思い出すことがありますよね。坂本小学校の運動会でも、その「運動会の歌」が復活できたら皆さんと一緒に歌えるのになあと個人的に思ったところでした。

さて、昔から歌われている歌と言えば、「ふるさと」という歌があります。その中に、「うさぎおいしかの山」という歌詞がありますが、子どもの頃は「うさぎって食べるとおいしいんだな」と勘違いした方もいらっしゃるんじゃないでしょうか。

(私はそうでした)

実際は、皆さんもご承知の通り、「おいし」は「追いし」であり、「追いかけていた」という意味です。

このように、現代はだんだん使われなくなってきた言葉が、昔の歌には使われているということがよくあります。

「赤とんぼ」にもこんな歌詞が出てきます。「夕焼け小焼けの赤とんぼ。おわれてみたのはいつの日か。」

この歌詞について、授業中に子どもたちに質問したことがあります。

「おわれたのは誰ですか？」

すると、子どもたちは、「赤とんぼ」だと答えました。夕方に、子どもたちが赤とんぼを追いかけている歌だと思ったのですね。

この歌での「おわれて」は「ふるさと」の時の「追われて」ではなく、「負われて」つまり、「背負われて(おんぶをされて)」という意味です。

幼い子どもの頃、母親か、はたまた兄弟かにおんぶをしてもらって、秋の空を見上げていたのでしょう。真っ赤な夕焼け空を飛び交う赤とんぼが目に見えます。

この二つの歌を今の子どもたちが歌う機会はないだろうと思われる方もいると思いますが、実はあります。この二つは「文部省唱歌」として、今でも教科書に載っているのです。

しかし、「追いし」や「負われた」などのように、馴染みの無い言葉がたくさんある文部省唱歌は、子どもたちにとってはよく意味が分からない難しい歌であるに違いありません。まして、体験が伴わない歌詞は、大人になって思い出しても「この歌、懐かしいなあ」とはならないかもしれませんね。

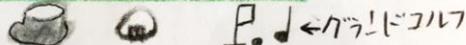
言葉とは生活と共に変わっていくものです。今年発売された広辞苑第7版には1万語もの言葉が新たに収録されました。そして、使われなくなってしまった言葉は削除されました。今使っている言葉の中にも、いつかは使われなくなり、消えていく言葉があるかもしれません。

でも、古い、新しいを問わず世代を超えて共有できる、しかも体験を伴った言葉や歌があれば、思いや思い出もみんなで共有し、共に楽しんだり、懐かしんだりすることができますよね。

どなたか「運動会の歌」を覚えていらっしゃる方はいませんか？ いらっしゃるから、教えていただくと嬉しいです。

## 子どもたちからのお知らせ

こんにちは。坂本小学校の6年生です。11月25日(日)に坂本小学校で収穫祭ふれあい教室があります。収穫祭では、自分たちで育てた野菜やお米を使ってふたじるやおにぎり、もちをつくる予定です。ぜひお越し下さい。お越し下さるのを楽しみにしています。一緒に楽しみましょう！



## つくしぼ文庫に新たな本棚が！

学校のホールには植木スエ子さんがたくさん本を設置してくださっています。定期的に入れ替えも行ってくださるので、大変充実しています。この度、手作りの本棚まで作っていただきました。いつも子どもたちのためにありがとうございます！



## バードウォッチング

先日、一区の敬老会に出席させていただき、とても高齢者とは言えない元気な方々とお話をさせていただきました。その中で、何人かの方が「学校便り」の中の「バードウォッチング」や「頭の体操」を楽しみにしていただいているというお話をお聞きし、とてもうれしく思いました。さらに、多くの方に楽しんでいただけるように、頑張っていこうと心新たにしたところです。

ということで、今回は、「なぜ、私は鳥を好きになったのか？」について、述べてみたいと思います。おそらく、きっかけは小学生の頃に飼育委員になったことだと思われます。当時の飼育小屋にはセキセイインコとウズラを飼っていたと記憶しています。しかし、ウズラは気性が荒かったのか、いつも追いかけていたので、好きにはなれませんでした。反面、セキセイインコは、色もきれいで、結構なついていたので自分でも飼ってみたと思うようになりました。中学1年生になった年に、セキセイインコの第1号「タローちゃん」を飼い始めました。幼鳥の時からえさをあげることで、人になれさせるわけです。鳥籠は自分の小遣いでは買えなかったもので、中学校の教科「技術」で製作した本立てを自分で改良し、タローの部屋にしました。えさが欲しくなると自分で部屋に入り、満腹になると家中をうろちょろしたり、そこら辺の誰かの肩に乗ったりして過ごしていました。飛び回る

と逃げてしまうので、一番外側の羽をカットして、軽く飛べるぐらいに調整していたように思います。歩き回ったり、人にまとわりついたりするときの仕草の愛くるしさ、そして何より人の声を覚えてまねをするのがセキセイインコの魅力だと思います。第1号のタローちゃんは、うまくいきませんが、第2号の「コロちゃん」からは、「カミモリ コロちゃん（名前）」「はとぼっぽ（童謡）」「桃太郎（昔話）」などを記憶させていました。なぜ、セキセイインコに「はとぼっぽ」を歌わせたのかは謎です。目の下のほっぺたのあたりを指でなであげると、恍惚の表情でじっとしている姿が今でも目に焼き付いています。このあたりから、私の鳥好きが始まったのでしょうか。ちなみにセキセイインコの名前の由来は、背（セ）が黄（キ）や青（セイ）色だからなのです。

## おまけ 頭の体操

### 問題1 (TBS 作成)

次の虫食い算を解き、□に当てはまる数字をすべて答えなさい。

$$\begin{array}{r} \square\square\square\square \\ \square \overline{) \square\square\square\square\square} \\ \underline{\square} \\ \square\square \\ \underline{\square 7} \\ \square\square \\ \underline{\square 3} \\ \square\square \\ \underline{\square} \\ 6 \end{array}$$

※ ヒント  
とにかく、あまりが6であるということです。

※ 答えがお分かりになりましたら、学校までご連絡ください。

## 坂本小学校の合言葉

あ あかるく  
し しんけんに  
た たくましく

